

～少子・高齢化を踏まえ、安全で安心な生活ができる住環境の提供～

県営住宅ストック総合改善事業

県営住宅瀬古団地3号棟 全面的改善工事

◆事業概要

(藤枝市瀬古)

【事業目的】

県営住宅（約14,900戸）のうち約6割は1980年（昭和55年）以前に建設されたもので、老朽化が進み、少子・高齢化の進行、環境問題の増大などの社会的要請からも、計画的な整備が必要とされているところです。

県営住宅瀬古団地においても、昭和54年の建設から約40年が経過し、建物が老朽化したため、再生整備計画に基づいた誰もが住みやすい団地の再生を進めています。

このうち3号棟では、現在、既存ストックを活用した全面的改善工事を実施中で、誰もが暮らしやすいユニバーサルデザインを備えた住宅への更新に取り組んでいます。

【工事内容】

- 共用部：古い階段室の撤去
新しい廊下・エレベーターの設置
- 住戸内：間取りの改善変更
水回り設備の改修
段差の解消 等

【全体計画】

- 団地概要：敷地面積 10,542.93m² 全5棟
- 3号棟概要：鉄筋コンクリート造 5階建て30戸
延床面積 2,163.10m²
- 事業期間：平成28～29年度



～少子・高齢化を踏まえ、安全で安心な生活ができる住環境の提供～

県営住宅ストック総合改善事業

県営住宅瀬古団地3号棟 全面的改善工事

◆工事の進捗状況

住棟本体の再生はほぼ完了し、
残る外構工事等を進めています。



(藤枝市瀬古)

平成29年11月30日

住戸内の間取り変更や水回り設備改修が完了し、
新たな住宅に生まれ変わりつつあります。

